令和7年度当初予算概要について

1 歳入について

- ・国民健康保険税の税収については、被保険者数の減少傾向を受け、前年度比では減少を見込んでいる。
- ・社会保障・税番号制度等システム整備費等補助金について、令和6年度においては、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴うシステム改修等の費用に充てるため、大幅な増加となっていたが、令和7年度においては、システム改修の予定はなく、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う周知広報用のリーフレット作成費のみとなるため、大幅な減少となっている。
- ・医療水準、所得水準、被保険者数に応じて東京都に納付する国民健康保険事業費納付金が約5億4千万円の減少となったことなどから、その他一般会計繰入金が前年度よりも約3億6千万円の減少となっていることもあり、一般会計からの繰入金は、前年度よりも約2億9千万円の減少となっている。

2 歳出について

- ・総務費は、人件費の増や被保険者証が有効期限を迎えるのに伴い資格確認書及び資格情報のお知らせを全被保険者に送付するための郵送料や印刷製本費等により、増加となっている。
- ・保険給付費は、令和6年度の実績を鑑み、前年度より約2億3千万円の減少となっている。
- ・国民健康保険事業費納付金が、東京都における納付金算定において、その基礎数値となる1人当たり医療費の推計値が、前年度より低い推計となったことや過年度の納付金に係る剰余金が増えたことなどから、約5億4千万円の減少となった。